

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

虫めがね1	2
虫めがね2	3
総会報告・歌と踊りの集い感想	4
みなと夏祭り感想・活動報告	5
クラブ活動報告、夏季営業売上げ報告・Ryo'sエニグマルーム	6
新メンバー紹介・ 糖尿病の講義のご案内	7
Dormitory Life（小野塚連載）	8
バリアフリーよもやま話（岡本連載）	9
僕の生い立ち（太田連載）・寄付・ スケジュール	10
バザー募集・クイズ解答・夕会	11
編集後記	12





先日の二・三日は夜はいくらか、過ごしやすい日もありましたが、暑さの本番はこれからですね。皆様はいかがお過ごしですか。



私は子供の頃から雷が大の苦手で、この年になっても雷が来る気配がすると、頭からタオルをかぶっています。笑っちゃいますよね。

太田 圭子



♡ 虫めがね～理想のデート～ ♡

僕の理想のデートは、一泊二日ぐらいで東京ディズニーリゾートに行って満喫したり、今年のように暑い夏であれば、湘南や江ノ島へ行き海岸線をドライブデートしたいです。彼女の条件として、ディズニー好きで僕と一緒に盛り上がってくれる人か、車の免許を持っている女性です。誰かいないかなあ。

田中 聡



私は今までに初恋や多くの女性に恋をして来たが、「今度！いつ空いている?!」とか「今度！何処かでお茶を飲み行かない?!」などと誘っても、ほとんど片思いで失恋していた。逆に私の事を好きになった女性が居たがどうしても好きになれなかった。その理由は性格の不一致である。さらに重度の身体障害者なので、外出や出会いの機会が非常に少ないのも理由の一つだと思う。お互いに好きあえるのは非常に難しいのではない

か!?!と思う。私の好みの女性は、普段静かで自分と話しをする時は何でも話しをしたり自分の事を理解くれたり、メイクは無しで生まれたままの顔で卵形か少し太めがいいと思う。身長はやや高め体は普通で、心が優しく何時までも若い人、そして福祉関係に勤務経験が有り関心を持っている人がいいなあ?!
私が考える理想的なデートとは、食事や映画、行楽地などに行って相互理解を深め2年間交際し、あと3年間はアパートなどを借りて同居生活をすれば、お互いの良い面や悪い面が見えてくる、そこで2人で今後どうしていこうか考えたり話し合ったりして結論を出して行きたい?!

幸 高史



虫めがね2 ～理想のデート～

私は女性経験が浅いです。その理由の一つが気の小ささだと思います。私は小さい頃から目立ちませんでした。それが彼女が出来ない原因だと思います。女性は私の勝手な印象ですが、苦手意識があります。なので女性リードのデートに憧れます。



女性とレストランでハンバーグを食べて会計は自分が払います。私はバスケットが好きなので少しバスケットの観戦をしたいです。その後私は疲れやすいので休憩を挟んで欲しいです。それから最近私は音楽に興味を持ってるので、コンサートを一緒に彼女と聞いてみたいです。そして一緒に料理がしたいです。

塚田愛基



欲を言えば僕と相手共通の趣味・嗜好等に関係するようなデートが良いですが、僕の性格上相手が喜んでくれるデートが『理想のデート』かと思います。

田村 亮彦



理想のデートといっても、その年代、年代で形態、好みが変わってくると思います。僕も一応、中学、高校時代、初恋を経験しました。けれども、なにぶんシャイな性格だったもので、とうとう一度も告白できずに終わってしまいました。その相手の彼女とデートする夢は、いつも心に描いていました。中学生、高校生時代だったので、やはりプラトニックなデートだったと思います。映画を見る趣味はなかったので、喫茶店で話をする程度の設定でした。帰り際にキス程度ならしてもいいとか思っていました。

大学生時代も、恋らしきものはしたのですが、初恋の時のような純粋さはありませんでした。特に特定の誰というわけではないのですが、デートらしきものは何度もしました。よくあるパターンですが、コンパの後、ディスコかボーリングに行くといったケースが多かったです。その頃は女性と一緒に飲むという嗜好性が強かったです。

悲しいことに、身体を悪くしてからは、恋といえるようなものは、ほとんどしたことがありません。それでも、女性とデートすることには、一緒にお酒を飲むといった設定が不可欠だと思ってきました。お酒を飲むと、自分のこと、思っていることなんかをダイレクトに言えるようになるからだと思います。



ストーン・ゴッド

総会報告

2013(平成25)年度定時総会は、平成26年6月14日(土)高浜荘会議室で開催されました。

25年度活動報告と決算が承認され、役員改選を経て、26年度活動方針と予算が承認され、定款の一部改正、会費規則の改正が決定されました。

26年度の役員は次のとおりです。

理事	会長	花田	政國
理事	副会長	岡本	明
理事	事務局長	井出	義文
理事	所長	岡本	裕介
理事		小野塚	航
監事		松本	成子
監事		佐久間	久仁子



歌と踊りの集い感想

7月5日、麻布区民センターにて共に生きるみんなの歌と踊りの集いが催された。風の子は第1回から参加しているらしく、かなり古参な団体のようなのである。それなりの出し物を提供しなくてはならない。今回もまた、職員の丸山君の熱い指導の下で、何度も厳しい練習を重ねた劇を披露した。タイトルは「毒りんご殺人事件」。殺された白雪姫の犯人捜しを探偵がするというコミカルサスペンスドラマだ。見所はクライマックスで王女が泣き崩れながら自白するシーン。王女役の朝生君が見事に演じきった。こびと達のユーモラスな芝居も笑いをとっていたし、主役の田中探偵もなかなか決まっていた。練習を重ねた成果はあったように感じられた。来年もまた、観客を湧かすことができるようなものにしたいと思う。

小野塚 航



みなと夏まつり感想

毎年風の子会も声をかけて頂いて、喜んで参加させていただいています。校長先生をはじめ、富田先生も毎年風の子の商品を買って頂いてありがとうございます。

大勢のお客さん本当に有難うございました。
石田美穂さん山名さんお疲れ様。

松本 恵司



活動報告

六月十三日（金） 午後一時に最近施設を立ち上げた職員代表の方が来所され、参考にしたいということで約一時間当会の所長と面談した後、見学等をしていきました。

六月十四日（土） 午後一時から三時半まで、平成二十五年度《二〇一三年度》の定例総会が行われました。その後一時間ほど七月五日に行われる『歌と踊りの集い』で披露する演目の練習をしました。

この時期（五月下旬から六月の第4土曜まで）は、『歌と踊りの集い』の練習をボランティアさんを交えて水曜・土曜日に行なっていますので二十八日のクラブ活動はありませんでした。

六月二十日（金） 入所希望者が一名、ケースワ - カーさんと一緒に来所され見学と作業の流れなどの説明を聞いて行かれました。六月二十四日・六月二十七日・七月一日の三日間の実習をしてから入所を決めるとのことです。



六月二十八日（土） 今年の旅行先、『かんぼの宿勝浦』へ行事委員一名と職員一名で実地踏査 = 下見に行ってきました。目的は、観光地の選定と宿泊先の支配人との打ち合わせです。

七月 四日（金） 新しい通所会員が増えました、名前は矢島さんといいます。詳細は、新メンバー紹介のコーナーに掲載しています。翌五日に麻布区民センターで行われる『歌と踊りの集い』の演目を小一時間練習しました。

七月 五日（土） 午後一時半から十六時まで麻布区民センターで『歌と踊りの集い』が行われ、今年の風の子会の演目である、白雪姫のパロディ『毒リンゴ殺人事件』を披露しました。

七月十二日（土） 午後二時より、みなと特別支援学校で行われた「みなと祭り」に代表メンバー、職員、ボランティアで参加し、工房商品を買ってきました。

三木 直人



クラブ活動報告



七月二十六日（土）午後一時～四時三十分まで、クラブ活動が行われました。ボランティアさん三名の参加となりました。私たち運動クラブは、アクアフィールド芝公園へ行き、プールに入りました。ボランティアとして、佐久間さんが来てくれました。今回は、浮き輪やプールバイなどを利用させていただき、とても楽しく皆で泳ぐことができました。

その他のクラブでは、料理クラブはパスタを作ったそうです。大変満足して、おいしかったそうです。次回のクラブ活動は、八月三十日（土）午後一時～四時三十分に行います。

田中 聡



夏季営業

売上報告

衣料・日用品総売上

119個

539,885円

皆さま、お買い上げありがとうございました。



Ryo's エニグマルーム

$$\begin{array}{r} \text{③} \\ \text{みず} \\ \times \text{みず} \\ \hline \text{飲みみず} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{①} \\ \text{AB2DEF} \\ \times \quad \quad \quad 2 \\ \hline \text{2DEFAB} \end{array}$$

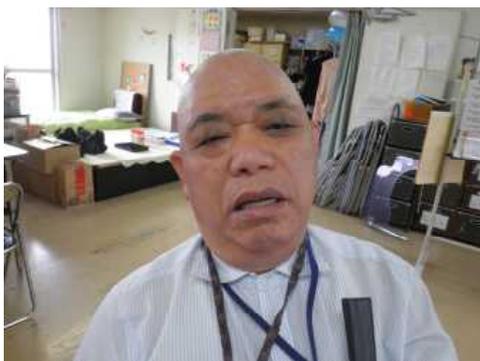
④
大宮
×大宮
大井町
横浜
浜松町

②
バナナ
+ バナナ
シナモン

・ 同じ文字には同じ数字が入り、違う文字には違う数字が入る。
・ 最上位の文字には0は入らない。一桁の場合も最上位であるので0を入れないという考えが一般的であるが、一桁の場合は0を認めるといった考えもある。
・ 問題に出ている数字を文字に当ててもよい

覆面算

新メンバー紹介



風の子会に新しい仲間が増えました！

矢島 邦章（やじま くにあき）さん
昭和27年8月15日生まれ

作業頑張ってます！
よろしくお願いします！

糖尿病に関する講義について

講座 糖尿病について

9月20日（土曜日）午後2：00～3：30

小出一樹先生に糖尿病について、講義をして頂きます。

会場：実習所の隣の会議室

糖尿病とはどんな病気か？原因は？予防法はあるの？早期発見するには？病気になるとどんな危険なことが起こるの？治療法は？等々、メンバーの知りたい事、その他詳しく映像を用いて分かり易くお話して頂けるとと思います。

区民健診、風の子会の定期健診が始まります。健診に糖尿病のチェック項目があります。

今回の小出先生の講義を受けて得る新たな知識は各自の健康管理にきっと役立つことでしょう。

メンバーのご家族の方、ボランティアの方、他、この講座に関心のある方も一緒に受講しませんか？



小出一樹先生・・・2012年から風の子会の嘱託医師になっていただいています。

風の子会の皆の健康に日頃から気にかけて下さり時々作業所に来て下さっています。

保健師 岸田貞子

わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第65話 落ちる（前編）

「トモの誕生日を祝ってバーベキューやるんだけど、ツカシもでるよね」6月の始め、ヒロセの突然の誘いを断る理由は僕にはなかった「バーベキューか。で、どこでやるんだ」「寮の屋上でやろうっていう話が出ててさ」「屋上？」突飛な提案に驚く。「そう。屋上で肉焼いて、ビール飲んで、歌って騒いでみたいなかんじでやろうかなって思ってたさ」。6月、そういうバカ騒ぎをするにはちょうど良い季節だ。

誰かの誕生日祝いに誘われることも珍しかったし、バーベキューも寮でやるのは初めてだった。ましてや寮の屋上でとなれば、開放的でちょっと違法的で、豪快な気分になれるのは間違いない。アパートでの生活リズムに少し慢性感を感じ始めてきた僕にとっていい気晴らしになるイベントだ。

朝、手早く身支度を整えて一服してからアパートを出る。6月のすがすがしい風を受けながらカートを走らせる。途中の酒屋で缶ビールを6缶買って寮へと向かう。鶴見川の流りに耳を傾けながら、もうじき夏だなと思った。寮の入り口でしばらく待っているとヒロセが下りてくる「おはようツカシ」。「おう。屋上までおんぶ、よろしくな」「はいよ」言いながらひょいと僕を背負い、屋上まで駆け上がる。

寮は、鉄筋コンクリートの5階建てだ。公団住宅のような古い作りでエレベーターは当然ながらない。5階まで上がるとその先に屋上に上がる階段がある。「6年目で初の屋上だ」「僕も滅多に来たことないよ」。扉を開けるとそこには絶景とまではいわないが見晴らしの良い景色が待ちかまえていた。青々と生い茂った木々が眼下に見え、その更に先には岡上住宅があり、背後には学部棟もちらと見える。木々を揺らしながら吹き上げる風は、それはそれはとても心地良い。

「ツカシおはよ。あたしのパーティーによろこそ」「おめでと。また一つ年をとったな」「女の子にそういうこといっちゃいけないだよ」明るい笑顔で言うトモに、さり気なく返す。あの夏の出来事から1年近く経った。半年くらいの不安定期間を経て、このころには僕のメンタルもだいぶ落ち着き、こうして普通に接することができるようになっていた。「イチは？」「バイト。夜に祝ってくれるみたい」「そっか。楽しみだな」「うん！」言いながらトモはバーベキューの準備に戻っていった。

カセットコンロと鉄網をセッティングし、肉と野菜を切って串に刺し、紙コップにビールを注げばバーベキューの準備はほぼ整う。タクが持ってきたラジカセでCDを流しながらヒロセが乾杯の音頭をとる。「じゃあみんな、コップを持って、用意はいい？」みんなそれぞれにコップを掲げる「トモ誕生日おめでとぅ！！」ヒロセにタク、キクチといったトモの同学年の仲間たち、ヒロセの彼女のキョウコ、それにキイチも加わってにぎやかなパーティーははじまった。

「みんなありがとう。これからもよろしく！」満面の笑顔を浮かべるトモを見ながら、僕はコップの中身を飲み干す。

～ 第66話へつづく ～

風の子便り連載

岡本 明

バリアフリーよもやま話 第32回 「ハートミラー」

鹿児島島の轟木敏秀さん。昭和37年に生まれ、筋ジストロフィーのため10歳くらいで入院し、以後35歳で亡くなるまでずっと病院で過ごしました。

彼は病気の進行に伴って体はだんだん動かなくなってきましたが、アイデアマンで、機械好き。気持ちはいつも前向きでした。昔はアマチュア無線で友達との交信を楽しんでいましたが、パソコンが出てくると、パソコン通信（今の電子メールの先祖です）を始めました。キーボードが押せなくなっても彼はめげずに、親指1本で操作できるような装置を作ってくれる人を探しました。以前この連載でも紹介した1スイッチの入力方法です。そして、このような入力方法やスイッチの研究をしていた横浜リハビリテーションセンターのエンジニアだった畠山卓朗さんを見つけました。当時はまだ良いスイッチも装置もなく、ここから轟木さんと畠山さんの共同開発が始まります。畠山さんと知り合いだった私もこのころ仲間に入りました（風の子会でも松本恵司さんが畠山さんに車いすのフィッティングでお世話になったことがあります）。

轟木さんはスイッチ一つで、文字入力やマウス操作ができる方法、テレビを操作できるもの（今の環境制御装置です）、さらには、本を全部パソコンに入れて、スイッチでページをめくって読めるようにするもの（今の電子書籍です）などを要求してきました。このように本当に欲しいものを率直に言ってくれる人は、私たち技術屋にはとても大切です。

あるとき、畠山さんが鹿児島島の病院に行って彼の装置をいろいろ検討しているとき、ちょうど入浴の時間になりました。「風呂の間、ちょっと俺のベッドに寝てみてくれ。」と彼は言いました。畠山さんは何気なくベッドに寝てみて、はっと気がついたそうです。見えるのはただ真っ白い天井だけ。体がまったく動かないので周りは全然見えません。お風呂から帰ってきた轟木さん、「分かった？」とにっこり笑ったのです。

横浜へ帰った畠山さんは早速周りを見渡せる装置の開発に取りかかりました。今ならビデオカメラやパソコンのウェブカメラなどを使って簡単にできるのですが、当時は安くこれを実現する方法がありませんでした。そこで畠山さんが思いついたのが、自動車のサイドミラーです。サイドミラーは車内から角度などを調整することができます。この機構を使おうと考えたのです。



出来上がった装置は、サイドミラーをアームに取り付け、手元のスイッチで自由に回転させて周りが見えるようにしたものでした。

大成功でした。彼のベッドの枠にこれを取り付けると、轟木さんの感動の音が響きました。「見える、見える・・・あ、柿だ、あ、まことだ（同室の友達です）。世界が広がるなあ。」周りだけではありません。食事のとき、皿に乗ったおかずも見えます。見ながら食べられる、こんなことは体が動く人にとっては当たり前ののですが、彼には毎日の食事をおいしくする大きな助けになるものでした。

轟木さんは、技術は便利にするだけではだめで、心を豊かにするものでなければならない、ということを教えてくれたのです。私たちはこれを「ハートミラー」と名付けました。



僕の生い立ち
第三十二話

ところがこの結婚式、普通に始まって普通に終われば大体二時間が通例だと思えますが、この日は麻布会館が僕達の結婚式以外にも予定が入っておらず、会館側も「どうせ空いているんだから、お使いいになって結構ですよ」と言ってくれたのです。僕達は、会館側に甘えることにしたのです。

太田 稔

スケジュール

九月六日(土)、七日(日)	旅行
九月二十二日(月)、二十三日(火)	きょうされん大会
十月十一日(土)、十二日(日)	区民祭り
十月二十六日(日)	ヒューマンぷらざ祭り

寄付のお礼

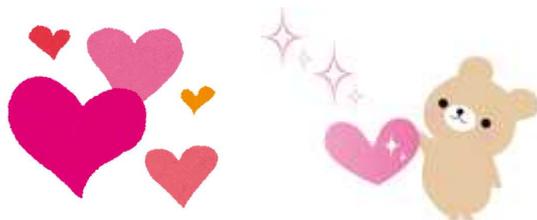
寄付を下された方

田中 あけみ様、高野 カネ様、雨宮 蓉子様、小野塚 満郎様

賛助会にご賛同してくださった方

福島 照行様 佐知子様、太田 想三様、田中 紀義様、田中 柳三様、
高野 定雄様 カネ様、田中 マサ子様

本当にどうもありがとうございました。



十月に行われる区民祭りで売る為の文庫本やバザー品（衣類含め）を募集しています。
壊れているものや、汚れ・落丁等が目立つ場合はご遠慮ください。

※送料は申し訳ございませんが、自己負担をお願い致します。
※港区内の方はご連絡頂ければ、要相談で取りに伺います。

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27
カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674
FAX 03(3474)9213



バザー品募集



$$\begin{array}{r} 76 \quad \textcircled{3} \\ \times 76 \\ \hline 5776 \end{array} \qquad \begin{array}{r} 142857 \quad \textcircled{1} \\ \times 2 \\ \hline 285714 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 29 \quad \textcircled{4} \\ \times 29 \\ \hline 261 \\ 58 \\ \hline 841 \end{array} \qquad \begin{array}{r} 877 \quad \textcircled{2} \\ + 877 \\ \hline 1754 \end{array}$$

クイズ
解答



夕会便り

6月7日土曜日。きょうされん大会に参加するか、風の子のみんなで話し合いをしました。話し合いの結果、9月23日火曜日に参加することに決まりました。

6月21日土曜日。旅行について。1日目、観光してから宿に行くか、について話し合い。観光せずに宿に行くことに決まりました。

区民まつりについて。第3テントで何をやるか決まらなかったなので、引き続き検証します。

外に出ようの感想を聞きました。

「移動時間が長くて大変だった」「参加者が少ない」「みんなで一緒のところにいきたい」などの意見が出ました。

7月5日土曜日、歌と踊りがあったので、夕会はありませんでした。

7月12日土曜日、風の子のみんなで仕事をしてましたので、夕会は無かったです。

柳川 敬事



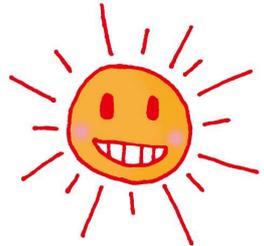
僕が一番世話になってるおふくろの妹の叔母さんです。
 おふくろと同じ病名です。でも元気に退院してきました。
 良かったです。家の中も明るくなりました。僕も一安心です。
 でもおふくろの場合、口のろれつが中々まわらなかったの
 でわかったです。
 おふくろは歌も好きで、うたえなくなったらかわいそうです。
 松本恵司

編集後記



今年5月に早くも気温が25度以上の夏日が何日か有り、6月は梅雨に入ると同時にいきなり大雨が3日間くらい続いた。そして気温も30度を超える真夏日も時々有った。その事によってこの夏の気温が35度~40度以上の猛暑日になり、暑ーーーくなる思う?!
 さらに!7月4日には台風8号が発生し、この台風は日本列島を横断しながら関東地方へ11日(金)の日中に上陸すると発表していた。この日は風の子会に行く日だったので「この台風何とかならないかなあ?!」と前日まで心配だったが、この台風は10日~11日の夜中に上陸し、午前中、外を見たら晴れて来たので「ああ!良かったなあ!」と思った!台風が過ぎ去った後は異常に蒸し暑く、帰りの送迎の時に車のクーラーを消して20分くらい待機していたが、もう蒸し暑くて死にそうだった!この日から30度を超える日が続いている。

幸 高史



AEDは心停止状態になった心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。2014年に導入10周年を迎える医療器具でその存在はだいぶ認知されてきたものの、まだまだ実施率は非常に低い状態です。平成25年の総務省による「救急・救助の現況」によりますと、目撃された心停止者数に対して市民がAEDを使用したのはわずか3.7%に過ぎません。

心停止に対して3分以内に除細動=AED使用ができれば生存退院率は70%と言われていたますが、現在の日本では救急車が到着までに要する平均時間は7.9分です。この時間まで手を打たないと、生存退院率は20%程度まで低下します。

もしも適切に市民がAEDを使用できる環境が整えば、救える命は現状と比べて4.5倍にもなるとの試算があるそうです。

市民の使用率の低さの原因の一つには設置場所(大半が公共施設だが、夜間は使用できないことが多い)ですが、あなたの周りの設置場所(可能ならば夜間でも開いている場所)と使用方法等は覚えておいて、もしもの時に直ぐ様使えるようにしましょう。

田村 亮彦

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

企画メンバー
 石田久太郎
 太田中野塚
 佐藤間一彦
 松田久亮
 右田恵
 幸栗頭
 和栗頭
 吉柳三塚田小太
 田川木田中野田
 塚
 久敬直愛圭
 代事人基聡航子

編集人:【高浜生活実習所】
 生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
 東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
 TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ: <http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人: 障害者団体定期刊行物協会
 東京都世田谷区砧6-26-21

